同窓会のチカラ

同窓会のための情報誌

2014

特集●同窓会活動の新しい動き
・懐かしの授業を再び：大阪府立生野高等学校同窓会
・発信する同窓会：静岡県立袋井高等学校同窓会
・同窓会青年部：福島県立双葉高等学校同窓会青年部
リレー連載 ● 私と同窓会
紹介● 同窓のメモワール
・土佐女子中学高等学校同窓会
・宮城県第三女子高等学校・宮城県仙台三桜高等学校同窓会
わが学び舎
・千葉県立佐倉高等学校同窓会 鹿山会

Our Proud

千葉県立佐倉高等学校／記念館（旧佐倉中学校本館）
（1910 年竣工／木造 2 階建、寄棟造／国登録有形文化財［建造物］）

Vol. 6

懐かしの授業を再び

大阪府立生野高等学校同窓会

學而時習之　不亦説乎　有朋自遠方來　不亦樂乎

懐かしい授業に臨んで蘇る友垣の絆

●大阪府立生野高等学校の同窓会では、二〇〇二年以来「公開講座」を毎年一月と八月に開催している。そのうち一月には「あの懐かしの授業をもう一度」と銘打って、旧職員による「授業」が行われる。旧職員で発案者である同窓会特命顧問の藤本慶信氏と同窓会常任理事の花村志穂氏に、開設の経緯と現状を聞いた。

「公開講座」は一般に開かれたものですから、原則どなたでも聴講になれます。各界で活躍されているOBの方に講師となっていただき、さまざまなテーマでお話頂くというのが趣旨。「公開講座」は基本的に一月と八月の年二回開催で、一月は「あの懐かしの授業をもう一度」というタイトルとコンセプトで旧職員（教諭）の方をお招きし、往事を彷彿とさせる授業を元生徒が受ける、というものです。昔のままのスタイルの先生もいれば、大学のゼミのような、難しいけれども魅力的な内容を講義される先生もおられます。中には最後まで雑談で終る先生もいらっしゃいますが、この企画の精神からしますと、それでも一向構わないんですね。

こうして「懐かしの授業」は生まれた

そもそも「あの懐かしの授業をもう一度」の企画は、同窓会の低調ぶりを憂えた同窓会のスタッフが、何とか盛り上げる方法はないかと知恵を絞った結果なんです。ご承知のように、今の同窓会には昔のような活発さはありません。世の中が遷って行くにつれ、同窓会という組織も社会の中でどう機能しているのか、どう機能すべきなのか、どこの同窓会も同じ悩みを抱え模索していると思います。我が生野高校も例外ではありません。

いろいろ考えた末に、OBによる「公開講座」と、そのバリエーションとして、昔の先生による講演を「あの懐かしの授業をもう一度」という名のもとに開こうということになり、昔生野高校で教えていた先生方にお願いして出前授業をしてもらうことになったんです。これらの講座を、主に三十代四十代のいわゆる現役世代にアピールし、彼らの意識を学校に呼び戻すきっかけ、意識してもらうきっかけにしたい、というのがそもそもの狙いです。

授業はキャンパス内の同窓会館「時習館」の多目的ホールで行います。おかげさまで授業は毎回満員御礼。立ち見も出るという盛況ぶりで、企画側としては有り難い結果となりました。授業の内容によっては、例えば理科系の授業の場合、学校の理科室・実験室を借りたりすることもあります。また受講者が多い場合には学校の「至誠ホール」などを使います。

「同窓会」の原点である母校への愛を意識する

この「公開講座」は二〇一四年一月で二十六回を数えます。目的は同窓会活動の活性化でしたが、そのもくろみには成功したと思います。しかもこの公開講座以降、年会費の集まり具合も良好で、各地の支部の会合なども活発化しているやに聞いております。三十代四十代というのは社会の中核になりますから、実社会でのストレスや重圧を感じていることと思います。そうしたときに、同窓会が一つの慰安、ひとつの支えになりたいという思いもあります。そういう意味でも、多くの聴講者が集まって来る企画を続けることは意義あることだと考えています。

この頃では、当初のターゲットだった三十代四十代に限らず、実際には若い人も集まってきているんですね。

「懐かしの授業」のしくみ その内容と実際

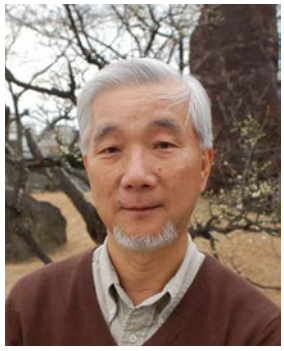
ご参考までに「あの懐かしの授業をもう一度」の概要を申し上げますと、おおよそ次のようになります。

一、講師の選択

生野高校には「生野会」という組織がありまして、これはいわば旧職員の同窓会のようなものです。会員は百～百三十人で、退職されている方が対象です。今までは十年以上継続して勤務され、担任を三回ほど持った経験者にお願いをしておりましたが、近年それほど一校に長く勤務することはありませんので、この選考基準はいずれ見直す必要があるでしょう。この授業を楽しみにしている講師候補も多く、みなさん張り切ってお引き受け下さいます。

二、授業時間

九十分をめどにお願いしていますが、延びることもしばしば。みなさん最初に思い出話から入ることが多いんですが、ついに思い出話で終ったということもあります。この「授業」は同窓会活性化のきっかけに過ぎませんから、それはそれで楽しければいい、というのが主催側の考えです。



左：同窓会・特命顧問　藤本慶信（ふじもと・よしのぶ）氏
右：同窓会・常任理事　花村志穂（はなむら・しほ）氏

●連絡先
大阪府立生野高等学校同窓会
〒 580-0015
大阪府松原市新堂 1-552
Tel : 072-332-0589 Fax : 072-332-1533
E-mail : ikuno@kawachi.zaq.ne.jp
URL : http://www.kawachi.zaq.ne.jp/dpbwe103/

三、広報・告知・受講料

基本的には聴講者は生野高校ＯＢとなりますので、毎年五月発行の同窓会報「至誠」誌上で案内をいたします。受講料は無料です。また口コミで伝わっている様子もうかがえます。

四、これまでの反応

聴講者の反応を見ますと、物理など科学系よりも、書道や国語、文学などの方が受けがいいという結果が出ています。最近では現役の在校生の聴講もあって、各年代に広まって行くことを期待しています。

五、授業の後で

公開講座の後、外で補講といいますか親睦を深める集まりがあります。これがまた楽しみで、気の置けない者の集まりですから大いに盛り上がるのが通例。もちろん講師（＝恩師）も出席されます。

「學而時習之」の精神のもと 相集う友垣との再会

同窓会というと、同年のクラスメートやクラブの同輩の集まり、というのが一般的だろうと思いますが、この「授業」は恩師がキーとなり、同窓会本部がハブとなって展開するもので、しかもかつての師弟関係が、時を経て同じように再現されるという点がユニークなところだと思います。世の中に出てさまざまな経験をしているＯＢが、まだ荒波を知らないころの時代に戻るというのは、単なるノスタルジアではなく、いわば原点回帰であり、一呼吸おいて英気を養う機会にもなっているのではないか、とも思います。こじつけるようで恐縮ですが、授業が開かれる「時習館」の名前のもとである「學而時習之」（学びて時に之を習う）の精神を形にすれば、これもまたそのひとつであろうか、と思ったりもするのです。■

▲生野高等学校の校訓五綱領
剛健・質実・自重・自治・至誠

◀生野高等学校同窓会館「時習館」

▲冨森盛史 先生（旧職員）による「『源氏物語』－昔の発音で聞く－」の授業風景（2014 年 1 月 25 日）

発信する同窓会

静岡県立袋井高等学校同窓会

左・鈴木康之（すずき・やすゆき）氏（1 期生）
静岡県立袋井高等学校同窓会会長
右・佐野暢昭（さの・のぶあき）氏（2 期生）
静岡県立袋井高等学校同窓会／HP 担当

●ホームページ
袋井高校同窓会検索
http://www.roiko-bo.net/

ホームページを積極的に活用した同窓会活動その現状と展望

●静岡県立袋井高等学校の同窓会では、ホームページを積極的に活用してひと味違う同窓会活動を展開している。この新しいスタイルが生み出す新しい活動実績や、それに伴う問題点などを、同窓会長・鈴木康之氏と実際のホームページ管理をしている佐野暢昭氏に聞いた。

現在、ほとんどの高校ではホームページを立ち上げ、学校の紹介や生徒・父兄への連絡などに利用していると思います。同様に同窓会の専用ホームページを設けているところも多いのはご承知の通りです。私たちの同窓会「絆」では、会員へのお知らせや、会員同士のコミュニケーションの手段としてこの新しい技術を活用しているのはもちろん、これまでの同窓会活動をより発展的に、より積極的に展開し得る可能性を持っていると考え、種々挑戦をしているところです。現在、会員数は一万二千人を超え、会報の郵送費だけでも多くの費用がかかります。会費の有効活用という観点からも、ホームページや電子メール等の情報通信技術の活用が不可欠になった、という事情も背景にはあります。

同窓会ホームページの可能性と現実的な問題

実際にホームページ（以下ＨＰ）を立ち上げてみますと、さまざまな問題といいますか、解決しなければならないポイントが見えてきます。同窓会でのＨＰの管理運営は、基本的にボランティアに支えられていると思います。ただ一般的にボランティアでは長続きしない。立ち上げに経費をかけるとともに管理運営費の予算を計上することも避けて通ることができない課題です。地方では、インターネット悪用のテレビ報道などの影響もあり、しかも何かあると責任論に発展しかねませんから、どうしても消極的になりがちなんですね。当同窓会では現状、佐野氏が作業の全てを行っています。ＨＰやＳＮＳは、人と人、人と地域を繋げる力があります。袋井高校のＯＢの多くは袋井市の外に出てしまいますから、これは意義がある作業だと思っています。

一方で記事の更新が少ないという声もよく聞きます。同窓会として専従スタッフの予算を割ければいいんですが、なかなかそうもいかない。しかし同窓会の方が管理運営をする時間はない。ではみんなで作業を分担してやればいい、と思われるかもしれませんが、共同作業は事実上不可能です。誰か一人がまとめて進める他ありません。こうした状況の下で、それでもこの作業をするのは「必要だから」。やらない理由は幾らでも見つけられる。でもこれからはインターネットの時代で、誰もがそれを必要とするはずなんですね。ＨＰやＳＮＳはほぼ毎日更新しています。おかげさまでブログは、一回アップしますと日に一〇〇アクセスくらいはあります。

まあＨＰは手段です。まず立ち上げて、それを試行錯誤しながらより良いものに進化させて、有用なツールとして機能する仕掛けに作り上げるしかありません。しかも中長期的な展望をもって。もっとも誰がやるのか、という問題は残りますけど。

都会と地方ではネット環境が違いますし、さまざまな意味で地方には難しさがあります。でも、例えば先輩から在校生が、企業が求める人材の情報や就職のアドバイスなどを容易に得られるなど、実際的なメリットもたくさんあります。現に同窓会館建設のための募金活動もネットを活用して展開しています。さらにＨＰを維持する費用の一部として、ＨＰに地元を始めとする企業・団体のバナー広告を載せています。一見するとポータルサイトのように思われるかもしれませんが、これが私たちのたどり着いた現在のＨＰなのです。■

▲同窓会館「槙緑館」（しんりょくかん）2014 年 2 月竣工

▼スクールキャラクター「ロイッピー」
袋井高校をアピールする目的で作られたキャラクター。イメージは地元名産のお茶。学校が生徒と保護者を対象に募集しデザイン化したもので、同窓会が製作しています。

▲ロイッピーまんじゅう

◀ロイッピーストラップ

同窓会青年部

福島県立双葉等学校同窓会 青年部

地域社会の発展と同窓会の役割を考える

●連絡先
〒970-8044
福島県いわき市中央台飯野 5-5-1
いわき明星大学内高校南館
http://futaba-high.schoolbus.jp/

遠藤義之（えんどう・よしゆき）氏
福島県立双葉高等学校同窓会いわき支部
青年部・副会長

●福島第一原発事故のため、双葉町から県内五カ所に分かれて避難していた双葉高等学校は、平成24年いわき市のいわき明星大学キャンパス内に仮校舎を設け再び一つになった。そうしたなか、存続が危ぶまれる母校支援のために同窓会の中堅会員が立ち上がり、「青年部」を創設、活動を開始する。その様子を副会長の遠藤義之氏に聞いた。

原発事故以来、各地に散らばった生徒たちは、県内の五つの高校に分散し授業を受けていましたが、震災後ようやく一つにまとまりました。しかし四百七十人いた生徒は、今や六十四人に過ぎません。帰還のめどは全くたっていませんし、このままでは学校の存続も危ぶまれるのが現状です。もちろん学校の存続は県が決めることですから、同窓会としてはどうすることもできません。同窓会の本部支部はそのまま続いている形になっていますが、双葉町には入れませんから、県内の同窓会活動は自然と消滅した状態だと聞いています。

そうしたなか、分散していた双葉高校が平成24年からいわき市内に再統合されることになりました。そうなれば、いわき市在住のOBとしても、黙って見ているわけにはいかない。何とかしなくちゃいけないという気持ちが高まって、実質的に機能していない同窓会とは別に、「同窓会青年部」というものを立ち上げて活動しよう、ということになったんです。

▲仮校舎の教室

具体的には「双葉高校のTシャツ」を作り、これを販売しています。経費を除いた金額、一枚につき五百円を母校に寄付します。このTシャツ販売については双葉高校と従来からある同窓会の了解を得ていますし、販売に関しても協力をいただいています。二〇一三年十月の創立90周年記念式典では、青年部の会長より双葉高校校長に目録をお渡しすることができました。この活動はこれからも続けて参ります。

またこれとは別に「青年部」は、双葉高校のボランティア部に協力して、いわき駅前の清掃活動を行っています。これは、お世話になっているいわき市に少しでもご恩返しをしたいという気持ちの表れです。アイデアは生徒会から自発的に出たもので、感謝の気持ちを表したいという生徒の志に青年部が賛同して参加しました。

少しでも母校の役に立ちたいと考えて発足した「青年部」ですが、他にも何か出来ることはないかと考え続けています。そのためのコアになるよう機能し続けていきたいですね。活動はまだまだ十分とは言えませんが、今後、双葉高校に限定せず広げていきたいと考えています。現在メンバーは三十人程度。いわき支部の中にあります。まあ青年部と言いながら、五十歳過ぎの人もいますが、母校に対する思いに年齢は関係ありませんし、貴重な戦力として頑張っています。■

●双葉高等学校のその後の経過

平成二十六年四月の入学生が双葉高校の最後の生徒となる。この生徒が卒業する平成二十九年度に双葉高校は、（再開を前提とした）休校をする。一方で、双葉郡の学校を統合した中高一貫校の構想がある。

「なくさないで」着てPR

生徒激減の福島・双葉高OB、Tシャツ作製

▲朝日新聞夕刊 2013 年 10 月

▼2013 年 9 月 3 日（火）
双葉高校ボランティア部と双葉高校 OB によるいわき駅前清掃活動。NHK の「きらり えん旅」の取材で歌手の森山良子さんといわき駅前の清掃活動を行いました。（2014 年 3 月 6 日（木）午後 7 時 30 分から放送）

私と同窓会

溝口 信義

同窓会名簿の刊行の趣旨は個人情報保護法の精神に反するのだろうか

北海道深川西高等学校同窓会・幹事長
溝口 信義（みぞぐち・のぶよし）氏
（昭和 41 年卒）

朝、目の覚め際に特に親しかった訳でもなく、思い出しもしなかった同期の顔が夢に現れたことがある。何気なく名簿を取り出して名前を探る。名前の横の住所の欄がぽっかりと空いていた。どうしても逢いたいと言うわけではないけれど何か気にかかる一瞬であった。そう言えば毎年のように北海道に来た時には必ず立ち寄ってくれた友人が居た。ある時からぷっつりと消息が途絶えた。何かあれば連絡があって良い筈だがそれもない。いくらか手がかりを求めてあちこち訪ねて探ったが何も得られなかった。昔ならとっくにわかったことも今の世はそれすらも許してくれない。善を悪用することが多くなったからだろう。そんな世相の狭間の中にあっても許される範囲の中でつながりは保ち続けたいと思う。

夢の中に現れた彼はどうしているのだろう。一寸気になる。

混乱の世情の中、勉学の志を秘めながら開学の作業に追われ、その合間に勉学に勤しみ卒業後は引き続き戦後の日本を引っ張ってきた諸先輩も加齢の大波には如何とも抗し難く、五年前の名簿から照らしても多くの訃報を目にするようになりました。

さて、人間関係が希薄になりつつある世にあって、同窓会名簿の発刊は会則第六条の一に基づく事業であります。発刊に当たっては賛否両論を覚悟で事業の推進に臨んでいます。「友達の所で名簿を見たら俺の住所が載っていない」これには対処できる。「同期の彼が載っていない」転校したりした場合は本人もしくは同期の方からの申告がないと載せられません。「名簿に名前の掲載も駄目！」この事例も基本的には拒否。お名前以外は空白掲載。個人情報を錦の御旗に名簿自体の発刊を拒否する方もいますが発刊を望まれる方が多いのも事実です。会員の方には掲載の可否をお伺いしてから記載していますのでその時点で判断をお願いしています。空白部分は必ずしも不明というわけではありませんがこれも時代の波とご理解ください。

なお、発行されたからにはこの名簿が思い出や絆、記憶を手繰り寄せる一助なることを切に願ってやみません。又、協賛広告、賛助金にご協力をいただいた各事業所の皆様や同窓生の皆様にこの場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

最後に同窓生皆様のなお一層のご健勝とご活躍をご祈念申し上げますと共に、更なる同窓会の発展のため、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●この文章は平成二十五年九月発行の同窓会名簿の編集後記をそのまま転載したものです。昨今顕著になりつつある「個人情報保護」の在り方に対する疑問、結果として人と人との間を切り離すような方向に働いている現実を憂慮する心情が表れています。同窓会活動に支障を来すこともままあるこの法律と、その運用の在り方を考える一つの事例としてご紹介いたします。

▲北海道深川西高等学校

●連絡先
〒 074-0012
北海道深川市西町 7-31
北海道深川西高等学校・同窓会
電話 0164-23-2263

同窓のメモワール 1

高知県・土佐女子中学高等学校同窓会

うまし土佐女子
とわにさかえん

土佐女子中学高等学校同窓会
http://www.tosajoshi-jh.ed.jp/index.php
〒780-0842 高知県高知市追手筋 2-3-1
TEL 088-875-3111　FAX 088-875-2726

荒川　操（あらかわ・みさお）氏
土佐女子中学高等学校校長・同窓会会長

●長い歴史と伝統を持つ学校には、それぞれ独自の校風というものがあります。中でも制服は、その学校の教育理念と理想を示す具体的な形のように思えます。また同時に、制服は同窓の絆を確かめるひとつの記号でもあるでしょう。こうした同窓会活動と制服について、一貫した教育方針で知られる土佐女子中学高等学校の校長にして同窓会長の荒川操先生にお話を伺いました。

うまし土佐女子の制服
○高知県・土佐女子中学高等学校

土佐女子中学高等学校は明治三十五年（一九〇二年）創立されました。今年で百十二年目を迎えます。長い歴史のなかで、歴代の校長やその関係者たちの努力により校地拡張をはじめ、さまざまな改革発展がなされて現在に至っています。

「真の教育は私学にあり。」の理想を根底に維持して、女子教育を貫いています。「校風は心身の健康、社会的にも国際的にも聡明で、豊かな愛情に満ちた信頼される女性の育成を目指して、清純な生徒とやさしく厳格な教師との心の交流により人間教育を行うところにある。」と言わしめています。現在も明朗・聡明・愛情・気品が本校の指導目標であります。

校友会は、第二回卒業式の後、明治三十八年に成立したとの記録があります。学校の歴史のなかでは、当然制服も変わってきたことは言うまでもありません。現在の土佐女子の制服は、この「リカちゃん人形が着ている」制服です。私達は「優しさの中に凛とした美しさを備える制服」と考えております。

このリカちゃんに私達の制服を着せるとどんなになるか想像もつかなく、卒業生の中でも反対の声がありました。しかし、卒業後年数を重ねても、自分たちが愛したリカちゃんを通して、きっと母校にも関心が向いてくるに違いないという思いから、百十周年記念事業の一つとして、制作していただくことに踏み切りました。その結果大変多くの校友会員の方々から申込みがあり、母校にひいては、校友会にも注意を向けていただくことになり、「母校と卒業生を繋ぐ」目的の一つが達成できたと一同喜んでいます。

「制服を着たリカちゃん」には、校則にかなった正しい制服を着せることですから、わたしたち校友会役員たちのみならず、一般の卒業生からも多くの注文が出されたことをご報告するとともに、購入していただいた方の中には、お母様は亡くなられたけれど、息子様から購入の申し込みがあったり、お孫さんにプレゼントして土佐女子に入学してほしいと願う高齢の卒業生のお話などもたくさんあります。

また、関東、名古屋、近畿の校友会支部でも毎年総会を開き、年代を越えて交流を図っています。勿論母校との繋がりも大切にしています。校友会会則第三条には「この会は、母校を愛し、会員相互の交情を親密にし、女性としての教養を高めると共に、社会的奉仕に努めることを目的とする。」と、校友会の役目を明確にしています。

もう一つ、同窓のメモワールには、今回で十号となる校友会会報「白梅」が欠かせません。母校の現状、同窓生たちの動向、恩師の先生からの便りなど、是非知っていただきたい内容が織り込まれています。お互いに助け合うことの大切さを感じていただければ幸いです。■

©TOMY

●荒川操先生は高知市出身で土佐女子中学高等学校から同志社女子大学英文科に進学、卒業後に母校の教諭となる。定年退職後も講師として勤務。平成二十年から校友会会長をつとめ、平成二十四年に校長に就任。百十年の歴史の中で初の女性校長である。

▲土佐女子中学高等学校

同窓のメモワール2

宮城県第三女子高等学校 宮城県仙台三桜高等学校 同窓会

「鉄紺トロピカル」にこめた母校への思い

●卒業して社会に出てから、自分と母校を繋ぐものは何かと考える人はそう多くはないでしょう。それでも何かの折に、かつての学生時代が蘇ることがあります。例えば校歌をふと耳にした時、懐かしい制服を目にした時など、自分が見えない紐帯で母校と結ばれていることを意識する人は多いのではないでしょうか。遠ざかっていた母校が再び身近に感じられるそんな時、年を経て積み重なった人生の地層から、心はやすやすと飛び立ち、多感な時代に思いを馳せている、そんな経験もまた多くの人が持ったに違いありません。特に制服は、かつて自分も身にまとい、母校の一員として過ごした記憶の証そのものです。その母校と制服に対する思いを宮城県第三女子高等学校・宮城県仙台三桜高等学校同窓会に伺いました。

宮城三女の制服は心の中に
○宮城県仙台三桜高等学校

宮城県第三女子高等学校は大正十三年（一九二四）に宮城県第三高等女学校として設立され、昭和二十三年（一九四八）学制改革により宮城県第三女子高等学校となる。平成二十二年（二〇一〇）男女共学化に伴い、宮城県仙台三桜高等学校と改称した。

男女共学になる場合、単に男子女子が共に学ぶことになるというだけではなく、施設、授業内容、その他たくさんの課題が発生するのではないかと懸念いたしました。加えてそれまでの歴史がありますから、在校生はもちろん卒業生にも、複雑な思いが生じるのはやむを得ません。特に卒業生にあっては、なにか自分の歴史の一部が消滅してしまうような気持ちになるのも無理からぬことと思います。

宮城三女が仙台三桜に変わる際にも、随分と議論が交わされましたが、結局共学化が決定し、それに伴って、同窓会名も、二つ併記の形になっています。

女子校にあっては、制服というのは特別な意味があるように思いますが、宮城三女でも、共学化を期に制服が変わりました。

生徒からの要望もあり、同窓会としても、何らかの形で制服を残したいと考えていた時、たまたま「制服リカちゃん」の情報を知りました。さっそく製作会社に問い合わせ「三女の制服リカちゃん」の企画がスタートしました。

ですが、いざスタートしますと、まず服の色の問題が出てきました。宮城三女の夏服のスカートは「鉄紺（てっこん）トロピカル」という色で、本物の生地を染める際にもこの色を出すのは大変だったんですね。リカちゃんの場合でも既存の色はありませんから、これもまた新しく染めなくてはなりません。たかが人形の服の色かもしれませんが、少し大げさに言えば、この色こそが宮城三女のアイデンティティー、誇りでありましたから妥協はできません。何度も作り直していただいて、なんとか「鉄紺トロピカル風」の色合いが完成しました。

次の問題は髪型でした。髪型は三種用意していただき、文化祭の時に展示して、現役の生徒や卒業生の意見を聞いて決定しました。

リカちゃんで「制服」復活

旧宮城三女校

同窓会企画 2000体限定

2010年春に男女共学化で仙台三桜高となった宮城三女高（仙台市太白区）の制服が、「リカちゃん人形」の衣装で復活する。同校同窓会が、半世紀以上の歴史を持つ三女高の制服を思い出に残そうと企画した。限定生産の2000体の注文受け付けが始まっており、試作品は9月2日の同校文化祭で展示される。

男女共学化で制服デザインも一新される方向性が固まった09年、在校生の声を受けて同窓会が商品化を発案。全国で「制服リカちゃん」を手掛ける同窓会プロデュース会社、サラト（姫路市）を通じ製造元のタカラトミー（東京）と試作を重ねてきた。これまで全国14校の制服がリカちゃん人形になっているが、県内の高校は初めて。

人形は身長22㌢で、着せ替え用の夏服や冬服などが付く。1951年から続いた紺色のブレザーや「鉄紺トロピカル」色と呼ばれた三女特有の緑色の夏スカートを緻密に再現。髪形も同窓会がアンケートをして決めるなど手間暇をかけた。

同窓会の伊藤郁子会長（52）は「長年親しまれてきた制服をこのように再現でき、大変うれしい。東日本大震災で連絡が取れなくなった卒業生もいる。多くの方に知ってもらい、在りし日の三女高を思い出すきっかけにしてほしいと願う。

申し込みは先着順で、9月末締め切り。13年3月発送の予定。衣装付きで1体6980円（送料込み）。連絡先はサラトでフリーダイヤル（0120）982412。

宮城三女高の制服を着たリカちゃん人形

▲「河北新報」2012年8月29日

宮城県第三女子高等学校・宮城県仙台三桜高等学校同窓会
http://www.pacs.co.jp/~miyasanjyo/
〒982-0845 宮城県仙台市太白区門前町 9 番 2 号
（仙台三桜高等学校内）
TEL 022-248-0158　FAX 022-248-0482

左・同窓会会長　伊藤郁子（いとう・いくこ）氏
右・同窓会副会長　伊藤知子（いとう・ともこ）氏

ようやくリカちゃん人形が完成、次は販売です。割に高価なものですから、当初売れ行きが危ぶまれたのも事実です。しかも二〇一一年には東日本大震災がありました関係で、製作を一年延ばし、広報は同窓会報の案内だけでした。

ところが発表すると思いのほか反響が大きく、文化祭で展示した際にはケータイで撮影する人が大勢いたのにはびっくり。さらに地方紙「河北新報」に「制服リカちゃん」の記事が掲載されたことで話題を呼び、卒業生でない方からも注文が来たほどです。もちろん丁重にお断りいたしましたが。ともかくおかげさまで予定数を完売しました。私たち同窓会としては、このような形で宮城三女の制服を残せたことを嬉しく思っています。

この制服の夏バージョンは生徒に大変人気があり、私たちが生徒だったころも、このスカートがうれしかったのを今でもよく覚えています。多感な時代にこの学校で育ててもらったという気持ちがありますから、愛着もひとしお。この制服を見ると、その時代がまざまざとよみがえってくるんですね。■

●音楽部

宮城県第三女子高等学校・音楽部は、合唱コンクールでの上位入賞常連校として知られている。この実績が注目されて、歌手・森山直太朗のデビュー・シングル「さくら」のカップリング曲「さくら（合唱）」のバックコーラスを、宮城第三女子高校・音楽部が担当した。これを契機にこの曲は仙台三桜高等学校となった今でも歌い継がれている。

◀戦時下の青春（昭和 18 年）
冬の制服を着用した生徒たち。この制服は大正 13 年に制定されたもの。冬服は襟と袖口にビロードの付いたオーバーに編上靴。夏服のチューニックは清楚・活発なデザインで、当時あこがれの的だった。しかし第二次世界大戦開戦の前年・昭和 15 年に全国統一の女学生服が制定され、やがて戦争の激化にともない、制服もモンペと防空頭巾へと変わっていった。

©TOMY

◀宮城県第三女子高等学校の制服「鉄紺トロピカル」を着た最後の卒業生（平成 24 年春卒業）

▼宮城県第三女子高等学校当時の校舎

Our Proud

わが学び舎

千葉県立佐倉高等学校同窓会 鹿山会

質実剛健　積極進取　独立自尊

220年の時を超えたインターナショナリズム精神

沿革

千葉県立佐倉高等学校は、寛政四年（一七九二年）、当時の佐倉藩主・堀田正順（ほった・まさあり）が創設した藩校「学問所」に始まる。下って明治六年（一八七三年）、旧藩主・堀田正倫（ほった・まさとも）が「鹿山精舎（鹿山中学校）」と校名を変更、この鹿山が後に同窓会の名称となる。明治三十二年（一八九九年）県立に移管、翌々年「千葉県立佐倉中学校」となる。明治四十三年（一九一〇年）現在地に校舎を新築し移転する。昭和二十三年（一九四八年）学制改革により「千葉県立佐倉高等学校」となる。昭和二十六年（一九五一年）男女共学を実施する。昭和四十九年（一九七四年）新校舎が竣工するのに伴い、旧本館は「記念館」として改修される。平成四年（一九九二年）藩校創立二百年記念式典を挙行する。翌年、鹿山文庫関係書籍一万五百点が県有形文化財に指定される。平成九年（一九九七年）より日蘭交流事業を開始、オランダにおける国際青少年会議に生徒三名を派遣する。以降現在まで、アメリカ同時多発テロのため中止した年を除き毎年オランダに生徒五名を派遣。平成十年（一九九八年）地域交流施設「サクラ・カルチュレール・セントラム」が竣成する。平成十一年（一九九九年）県立移管百周年記念式典を挙行、オランダのドラードカレッジから生徒二十四名・職員三名が来校する。平成十二年（二〇〇〇年）米国アラバマ州のセントラルイースト高校へ生徒四十五名を派遣する。翌年も生徒二十六名を派遣。平成十三年（二〇〇一年）より二学期制を実施、同年、同窓会「鹿山会」、文化財「鹿山文庫」保存・管理の功績により千葉県教育委員会から教育功労賞を受賞する。平成十七年（二〇〇五年）進学対応単位制高校としての一年次生が入学、同年、記念館が国の登録有形文化財として登録される。平成二十二年（二〇一〇年）より県教育委員会から指定された進学指導重点校を施行、同年、記念館建築百周年記念式典を挙行する。平成二十四年（二〇一二年）藩校創立二百二十年記念行事を開催、オランダのドラードカレッジから生徒五名、教員二名が来校する。来校は二回目。同年、第一回オーストラリア短期留学で生徒二十名を派遣する。翌年も生徒二十名を派遣。平成二十五年（二〇一三年）文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定される。平成二十六年（二〇一四年）より理数科を設置する。

▲記念館建築の功労者・堀田正倫（ほった・まさとも）公

佐倉高等学校では多くの著名な卒業生を各界に輩出しているが、特に著名な人物として、昨年国民栄誉賞を受賞した、プロ野球・読売ジャイアンツ終身名誉監督・長島茂雄がいる。■

※ハルマ和解（全六冊）
わが国最初の蘭日辞書として知られ、当時の蘭学者たちに、大きな影響を与えた。

▲1階廊下・歴代校長の肖像が掲げてある。

千葉県立佐倉高等学校同窓会 鹿山会
http://rokuzan.gozaru.jp
〒285-0033 千葉県佐倉市鍋山町 18 番地（佐倉高等学校内）
TEL 043-484-1021　FAX 043-486-0903

記念館前の庭園▶

表紙写真・解説

千葉県立佐倉高等学校記念館。千葉県下高等学校唯一の明治建築校舎である。旧制佐倉中学校が、明治四十三年（一九一〇年）現在地に移転するにあたり、新たに建設された。佐倉高等学校では落成式の行われた十一月十日を記念し、この日を創立記念日としている。これ以降、旧制佐倉中学校・新制佐倉高等学校の本館として使用された。昭和四十九年（一九六四年）の新校舎完成以後は「記念館」として、校長室、応接室や会議室として現在も使用されている。平成十七年（二〇〇五年）国の登録有形文化財として登録され、平成二十二年（二〇一〇年）には建築百周年を迎えた。この間、幾度も修復補修工事を行っている。

洋風木造二階建て、壁はドイツ下見板張、窓は上げ下げ窓、屋根は寄棟造、スレート葺（現在は重量軽減のため銅板葺）。玄関の上に小さな塔屋（サイレン塔）を載せているのがユニーク。また随所に意匠を凝らし、全体に瀟洒な印象で、いかにも明治期の洋風建築らしいたたずまいだ。明治の学舎の姿を今にとどめる記念館は、佐倉校生の心の拠り所であり、また歴史的建造物として地域の人々に親しまれている。

▲応接室（かつては教室として使用していた）

平成二十四年（二〇一二年）に放映されたNHK朝の連続テレビ小説『梅ちゃん先生』で主人公が学ぶ女子医専の撮影舞台にもなった。

●鹿山文庫（千葉県指定有形文化財）

佐倉高等学校所蔵の書籍のうち、全ての和装本と、明治四十五年（一九一二年）以前の刊行本を指す。寛政四年の学問所以来、蒐集し受け継がれてきた書籍群で、蘭書を始めとする洋書は、日本の近代化に貢献した佐倉の先人が学んだ貴重なもの。例えば『ホッタイン博物誌』三十七巻（一七六一～八五刊）は佐賀・仙台・佐倉だけが購入したという貴重本で、当時の値は金四十両。注目すべきは、日本初の蘭和辞典『ハルマ和解』（寛政八年・一七九六刊）。これは木活字で印刷し後から訳語を書き込んだ刊行本で部数は三十程度といわれる。その他『ハルマ和解』同様フランソワ・ハルマの『蘭仏辞典』を原本とした『ドゥーフ・ハルマ』（天保四年・一八三三写本）は当時最大最良の蘭和辞典で多く転写され、また大部で刊行部数の少なかった『ハルマ和解』の収録語数を半分ほどにした蘭和小辞典『訳鍵』（文化七年・一八一〇刊）は二百部ほど出たらしく、広く利用された。更に、桂川甫周の手になる『ドゥーフ・ハルマ』の校訂版『和蘭辞彙』（安政二～五年・一八五五～五八刊）は最も完備した蘭和辞典といわれる。これら四大蘭和辞典が一堂に揃っているのは極めて珍しい。

鹿山文庫は、地域交流施設「サクラ・カルチュレール・セントラム」に収蔵しており、一部は展示室にて、堀田家関連資料や順天堂関連の翻訳書・医学書、藩校時代や旧制佐倉中学校時代および現在の佐倉高等学校に至る各種の資料とともに展示されている。■

▲サクラ・カルチュレール・セントラム

地域交流施設
「サクラ・カルチュレール・セントラム」

開館日　土曜・日曜・祝日
時　間　10時～12時・13時～16時30分
入館料　無料

ごあいさつ

株式会社サラト・代表取締役
福田 裕一（ふくだ・ゆういち）

福田 裕一

「縁尋機妙」の四十年を思う

おかげさまで弊社は昨年、創業四十周年を迎えることが出来ました。これもひとえに母校・同窓会を大切に思う多くの方々のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

振り返って見れば、沖縄県が本土復帰を果たす前の昭和四十六年（弊社創業の二年前）、ご縁があって琉球大学の同窓会名簿を作成したことが現在の同窓会名簿発行システムの原点でありました。（名簿の完成は昭和四十八年）

それから四十年、数多くの同窓会名簿作成のお手伝いをして参りましたが、出発点である沖縄を忘れたことはありませんでした。昨年末、ようやく訪沖の機会を得、弊社創業者と共に琉球大学同窓会事務局を訪問することができました。事業を継承した私にとっては、弊社の原点となった四十年前の同窓会名簿を初めて目にし、言い表せない感動を覚えました。巻頭に掲載された当時の写真や同窓会長を始めとする方々のあいさつ文、編集後記などに目を通しますと、同窓会名簿に携わった方々の思いが伝わってきて、改めてその意義と意味を教えられたように思います。現在弊社がお手伝いさせていただいている各同窓会の名簿も、二十年後、三十年後に手にする人々に同じ感動を与えてくれることを願わずにはいられません。

その後、この沖縄訪問をきっかけとして、県内のある高校の同窓会名簿を発行することになりました。一つの出会いが次の出会いを生んでゆくことに、人とのご縁の不思議さを強く感じております。またこれにより悲願である全国四十七都道府県全てでお取引が実現しましたことは、弊社にとりまして無上の喜びでございます。

人と人とのつながりである同窓会の活動を支援して四十年。今回の経験はまさに、良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展してゆく「縁尋機妙」です。これらのご縁を大切に育み、これからも同窓会活動活性化のお役に立ちたいと願っております。

◀琉球大学同窓会名簿「学友」

◀琉球大学同窓会事務局にて
右より
事務局長・比嘉　忠信（ひが・ただのぶ）氏
顧問・市村　嘉久（いちむら・よしひさ）氏
※市村氏は、当時の同窓会長（三代目会長）で
　第２回卒業（昭和 29 年卒）
弊社会長・福田勉／社長・福田裕一

サラトは昨年（平成二十五年）、全国百七十五校の同窓会名簿を納品させていただきました。発行にご協力をいただきました同窓会・学校・会員の皆様に、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

同窓会のチカラ 2014 年号／ Vol. 6
（2014 年 4 月 発行）
編集・発行　株式会社サラト
本社・〒 670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172
TEL 0120-138-000 ● FAX 079-224-7746
東京支社・〒 110-0016 東京都台東区台東 4-18-7
シモジンビル 5F
TEL 0120-03-6381 ● FAX 03-3832-6389
E-mail　eigyo@salat.co.jp
URL : http://www.salat.co.jp
SALAT
Salat Corporation

中城城趾から見る沖縄の海